CLAIR トピックス ――最近のクレアの動きや所管国の状況などを短くまとめて紹介します

ロンドン事務所

アイルランド「エクスペリエンス・ジャパン」に出展し各自治体の魅力を PR

2025 年 4 月 27 日にアイルランド・ダブリンで開催された日本文化紹介イベント「エクスペリエンス・ジャパン」に出展し、日本の各自治体のパンフレットやポスターを使って地域の魅力を PR するとともに、折り紙による文化交流を行いました。

2024 年に引き続き開催された本イベントは晴天に恵まれ、日本文化に直接触れることを心待ちにしていた多数の来場者が訪れる中、太鼓などのパフォーマンスや盆栽の作品展示、フードコーナーで販売される日本食を楽しむ多くの家族連れなどでにぎわいました。

来場者には、日本をすでに訪問したことがある方や近々訪問する予定のある方が多く、「定番の観光地以外におすすめの地域はないか」「日本での旅行先について情報収集するために訪れた」など、パンフレットを手に取りながら熱心に質問されていました。用意したパンフレットはほとんどなくなり、日本に高い関心が寄せられていることがうかがえました。

このほか、日本への訪問に関するニーズの調査などを行いました。調査結果は後日クレアロンドン事務所のホームページにて公表しますので、ぜひご覧ください。

本イベントは日本文化の紹介を目的に長年にわたって開催され、アイルランドの人々にとって日本の文化や情報に直接アクセスできる貴重な機会になっています。当事務所では、このような機会を積極的に活用し、各自治体の魅力を発信してまいります。また、当事務所インスタグラム「Local eyes Japan」では、海外の皆様に日本の地域の魅力を発信しておりますので、こちらもぜひご活用ください。

ホームページ　インスタグラム

日本の自治体を紹介するクレア
ロンドン事務所職員

会場の様子

シドニー事務所

西オーストラリア最大級の日本文化イベントで日本各地を PR

2025 年 3 月 15 日、西オーストラリア（WA）州パース市中心部のスプリーム・コート・ガーデンズで、「パース日本祭り 2025」が開催されました。日本の食、伝統芸能、ポップカルチャーなど、幅広い日本文化を紹介するこのイベントは今年で 11 回目を迎え、西オーストラリア州最大級の日本文化イベントとして広く親しまれています。当日は 40 以上のブースが立ち並び、晩夏の強い日差しの中、２万人を超える来場者でにぎわいました。

クレアシドニー事務所は、在パース日本国総領事館のブースの一角をお借りし、JETAA（元 JET 参加者の会）の WA 支部と西オーストラリア州パース市と協力して日本各地の観光 PR を行いました。西オーストラリア州と姉妹州関係にある兵庫県や、パース市の姉妹都市である鹿児島市をはじめ、各自治体のパンフレットを配布し、現地の人々に各地の魅力を紹介しました。JETAA WA 支部のメンバーも、パンフレットを配りながら観光地の情報を丁寧に説明するなど、終始積極的にブースを盛り上げてくださいました。多くの方が足を止め、熱心に話を聞いてくださる様子が印象的でした。

当日は、「次の日本旅行ではどこへ行こうか」と熱心にパンフレットを手に取る方や、「以前行った場所がとても良かった」と笑顔で思い出を語る方など、多くの来場者から具体的な声が寄せられました。日本への関心の高さを改めて実感するとともに、地方自治体にとっては、こうした現地イベントでの情報発信が、旅行先としての選択肢を広げるきっかけになると感じました。

今後も在外公館や JETAA と連携しながら、日本各地の自治体の魅力を海外に届ける取り組みを継続してまいります。

日本について説明するクレアシドニー
事務所職員

日本の観光地について説明するクレア
シドニー事務所職員と JETAA WA
支部のメンバー

パリ事務所

フランスの国民議会を視察しました

クレアパリ事務所では、民主主義の根幹を担う立法機関の役割と機能を学ぶため、日本の衆議院にあたるフランスの国民議会を視察しました。

フランスの国会は、日本と同様に、元老院（上院）と国民議会（下院）の二院制を採用しています。他方、議員の選出方法は異なり、元老院では間接選挙で、国民議会では直接選挙で議員が選出されます。直接選挙で選ばれる国民議会議員の選出についても、小選挙区２回投票制が導入され、日本の衆議院議員の選出方法とは異なっています。

民主国家における三権分立の制度はフランスの思想家モンテスキューによって提唱され、現代政治の礎となっています。そうした政治思想の本場ともいえるフランスでは、市民一人ひとりの政治への意識が非常に高いです。実際に視察の場には多くの市民が参加し、頻繁に質問が飛び交うなど、政治に対する関心の高さを目の当たりにしました。

視察を通じて、国民議会の役割を理解すると同時に、日本の政治参加のあり方を考える良い契機となりました。

国民議会が入っているブルボン宮殿

ニューヨーク事務所

JETAA トリニダード・トバゴ支部を初めて訪問

クレアニューヨーク事務所は在トリニダード・トバゴ日本大使館、西インド諸島大学、JETAA（元 JET 参加者の会）トリニダード・トバゴ支部を 2025 年５月 12 日と 13 日に事務所創設以来初めて訪問しました。同国はカリブ海に位置する人口約 150 万人の島国で、トリニダード島とトバゴ島の２つの島で構成され、首都はポート・オブ・スペインです。昨年は日本との外交関係樹立 60 周年を迎えました。2004 年に４人が初めて JET プログラムに参加し、現在 71 人、これまでに合計約 250 人が ALT（外国語指導助手）として日本で勤務しました。

JETAA 支部は 2015 年に設立され、現地小学校での日本文化紹介や寿司づくりワークショップ、日本ムービーナイト開催など、トリニダード・トバゴで日本を PR するさまざまな活動を行っています。また、西インド諸島大学でも近年日本語コースを受講する学生が増えており、今年は既に 286 人が参加し、アニメをテーマにした特別レクチャーには 500 人を収容できる施設で立見が出るなど日本への関心が高まっています。当事務所としても引き続き彼らの活動をサポートし、海外での日本文化発信に尽力してまいります。

梅澤大使との記念撮影

西インド諸島大学言語研修センターでの意見交換

シンガポール事務所

天皇誕生日祝賀レセプションで日本の魅力を発信！

2025 年２月 28 日、シンガポールで天皇誕生日祝賀レセプションが開催されました。このレセプションは、毎年各国の大使館の主催で天皇陛下の誕生日を祝い、日本の魅力を紹介するイベントで、シンガポールでは、政財界・文化人、各国外交団などの約 800 人を招いて行われます。

クレアシンガポール事務所はシンガポールで開催された天皇誕生日祝賀レセプションに参加し、石川県、京都府（関西広域連合）、栃木県の物産ブースの支援を行いました。ブースでは、各県の魅力あふれる「食」や「観光」の PR を行うため、観光パンフレットを用意し、イチゴやお酒を来場者に紹介するなど、多くの来場者が足をとめ大盛況でした。

今回当事務所は、自治体のブースにて説明対応などの支援を行いました。今後も引き続き、シンガポールをはじめとする東南アジア諸国において、自治体による物産販売促進などの取り組みを積極的に支援してまいります。

観光情報を発信するクレアシンガポール事務所職員

ブースにてチラシを配布するクレアシンガポール事務所職員

北京事務所

中国の青島市で宮崎市・青島を PR!（活動支援）

2025 年 2 月 27 日、在青島（チンタオ）日本国総領事館で開催された天皇誕生日レセプションに、宮崎市の活動支援として、ブースを出展しました。市内に「青島（あおしま）」という島を有する宮崎市は、以前から、青島市と観光・経済面で交流を続けています。

当日は、青島市政府関係者に加え、山東省政府・中国国家貿易促進委員会山東省委員会をはじめとした関係者が、250 人ほど出席しました。宮崎市ブースでは、市の青島のポスターを掲示したところ、「日本にも同名の場所があるとは知らなかった」との声が多数あり、地図も使って市の紹介を行いました。パンフレットとともに、ノベルティも好評で、たくさんの方々に受け取っていただき、宮崎市・青島を PR することができました。

「青島」で宮崎市を PR

ソウル事務所

大学生を対象に出前講座を開催

クレアソウル事務所では、韓国の大学で日本語を専攻している学生などを対象に、JET プログラムや日本の地方の魅力を紹介する出前講座を開催しています。

2025 年度の前半は、4 月 21 日にソウル市の祥明大学、4 月 29 日にソウル市の西京大学、5 月 22 日に忠清南道の白石大学、5 月 28 日に仁川広域市の仁荷大学の計 4 大学へ出向き、当事務所の職員が講師を務めました。

講義では、職員の派遣元自治体である鳥取県、島根県、愛媛県、宮崎県、鹿児島県について、観光地や特産品などの魅力や、JET プログラムの紹介などをしました。また、各地の方言や歴史など、文化面についてもクイズ形式で紹介しました。

特に JET プログラムに関する講義では、就職を控える日本語専攻の学生から、勤務の内容や自治体に配置されるまでの流れ、給料などについて具体的な質問を受ける場面もあり、就職先としての JET プログラムへの関心の高さがうかがえました。

ソウル事務所では、今後も将来の日韓交流の担い手となる大学生に日本の地方の魅力を伝えることで、相互理解の促進と交流推進を図ってまいります。

派遣元自治体についての講義

JET プログラム事業部

自治体などが実施する外国人材のキャリア支援事業を助成します

クレアでは、JET 参加者のプログラム終了後のキャリア支援のため、都道府県、政令指定都市および地域国際化協会が実施する、JET 参加者を含む外国人向けキャリア支援事業について助成を行っています。年間を通して申請が可能ですので、ぜひ積極的にご活用ください。

また、助成対象外となる事業であっても条件を満たせば広報協力が可能です。不明点などありましたらぜひお気軽にご連絡ください。

■地域における JET プログラム参加者のキャリア支援事業助成

【対 象 団 体】都道府県、政令指定都市、地域国際化協会（総務大臣の認定を受けたもの）など

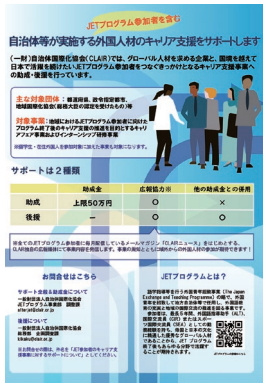
【対 象 事 業】都道府県、政令指定都市などで実施される JET 参加者を対象としたキャリアフェア事業およびインターンシップ事業

※留学生、在住外国人を参加対象に加えた事業も助成対象になります。

【助 成 額】上限 50 万円　※他の助成金などとの併用はできません。

【募 集 時 期】通年　※ただし、申請期限は該当事業開始日の 30 日前まで。

【お問い合わせ】JET プログラム事業部調整課　Tel：03-5213-1727　Mail：afterjet@clair.or.jp



キャリア支援事業サポート（助成、後援）のチラシ

市民国際プラザ

ご相談を受け付けています

市民国際プラザでは国際協力、多文化共生の推進のため、自治体と NGO/NPO などとの連携を支援しています。相談も随時受け付けていますので、お気軽にご連絡ください！

■相談受付（電話、メール、来館、Zoom）

- 多文化共生における自治体と NGO/NPO との連携など
- 国際協力における自治体と NGO/NPO との連携など
- 先進事例の照会　• SNS、メルマガでのイベントなどの広報について
- 地域国際化協会・国際交流協会の取り組みについてのご相談

http://www.plaza-clair.jp/

- 来館、Zoom 相談は事前にご予約ください　• 市民国際プラザは 6 階のクレア執務室内に移転しました

市民国際プラザ相談風景

交流親善課

オンライン交流セミナー「第 19 回自治体国際交流表彰受賞団体による交流事例紹介」を開催します！

第 19 回自治体国際交流表彰を受賞された団体における国際交流事例を紹介する「オンライン交流セミナー」を 2025 年 7 月 16 日(水）に開催します。今回は、マレーシアと教育、文化･スポーツ、農業など幅広い分野で交流を展開する「埼玉県三芳町」、アメリカ、ドイツと平和をテーマに青少年交流を積み重ねる「公益財団法人 長岡市国際交流協会」、ベトナムにおける安全な水の普及のため技術協力を展開する「福岡県北九州市」にご登壇いただきます。

セミナーの詳細や参加登録の方法などは、下記ホームページに掲載しています。多くの自治体および地域国際化協会など関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

■開催日時：2025 年 7 月 16 日(水）14：00 ～ 15：00（予定）
■開催方法：オンライン（Zoom を使ってのウェビナー形式）
■対　　象：全国の自治体および国際交流団体などの関係者　200 人程度
■申込方法：事前申込必要　※ 7 月 9 日(水）までに、当協会ホームページからお申し込みください。
ホームページ：http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/online_seminar.html

経済交流課

2025 年度 LGOTP 事業で 6 人の研修員が来日しました！

クレアでは、総務省との共同事業で、海外の自治体職員を日本の自治体に研修員として受け入れ、研修を行う「自治体職員協力交流事業（LGOTP)」を実施しており、これまでに 38 の国と地域から 1,213 人が参加しています。

今年度は 5 月 25 日に 6 人（中国 2 人、韓国 2 人、ペルー 1 人、インドネシア 1 人）の研修員が来日し、研修員は合同で日本語研修を行った後、6 月末から各受入自治体にて専門研修を受けております。来日から 1 か月に及ぶ日本語研修は活気に溢れた研修となりました。

受入自治体での専門研修では、日本の自治体が持つノウハウや技術を習得するとともに、研修員が自治体の国際化施策などに協力することを通して、受入自治体の国際化の推進を目指します。

研修員帰国後は、両自治体間の文化・経済交流のみならず、両国間の協力関係強化や姉妹都市間の人的ネットワークの構築につながることのほか、観光や多文化共生などの分野に外国人目線を取り入れたり、地域の国際交流の機会を創出するなど、国際協力以外の分野においてもキーマンとしての活躍が期待されます。

● 2026 年度 LGOTP 事業への参加自治体募集について

2025 年 9 月上旬に、実際に事業を活用いただいている自治体からの事例発表も含め、オンラインにて「2026 年度参加自治体募集オンライン説明会」を行う予定です。詳しくは下記の URL からご確認ください。
https://www.clair.or.jp/j/cooperation/lgotp/lgotp.html

2025 年度東京研修（都内視察）の様子

研修施設での入寮オリエンテーションの様子

多文化共生課

「英国多文化コミュニティ政策交流プログラム」参加者募集！

クレアでは「英国多文化コミュニティ政策交流プログラム～英国の社会統合の現状～」の参加者を募集しています。自治体などの多文化共生施策の企画立案などに役立てていただくため 2023 年度より開催しているもので、数多くの移民・難民を受け入れてきた英国ならではのダイナミックな社会統合政策に基づく多様な取り組みなどについて、自治体や慈善団体などの視察や関係者との意見交換などを通じて肌で感じることのできるプログラムとなっています。

詳細や、過去の実施報告書を多文化共生課のホームページにて公開していますので、ぜひご覧ください。ご参加お待ちしています！

Brixton BID で、地域住民の多様性を強みにした地域活性化の取り組みを視察

移民個人のストーリーを取り上げ、理解促進を図る移民博物館の取り組みを視察

■開催期間：2025 年 9 月 15 日(月）～ 20 日(土）の 6 日間
■申込期限：2025 年 7 月 11 日(金)
■対　　象：地方公共団体職員および地域国際化協会・市区町村国際交流協会の職員など